

# 【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無断転載禁止》

レジメン番号： NCS-200

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
非小細胞肺がん	Atezolizumab 単剤	21日間	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	最小度	<IMpower010試験> Lancet 2021 ; 389: 1344-57

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
②	テセントリク 生理食塩液	1200mg/body 250mL	点滴静注	初回60分 2回目～ 30分	↓																				
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				

＜注意事項/備考＞

- ✓ Atezolizumab：0.2または0.22  $\mu$ mのインラインフィルターを用いて投与
- ✓ 間質性肺炎：初期症状は息切れ、発熱、咳嗽(空咳)など、胸部X線検査やSpO2モニタリングなどで定期的なモニタリングを
- ✓ 血糖上昇：口渇、多飲、多尿、倦怠感などの症状に注意、来院時には血糖値の測定を
- ✓ 大腸炎・下痢：持続する腹痛、嘔吐、下痢、血便など
- ✓ 甲状腺機能障害：投与中は定期的にTSH、FT3、FT4などの検査を
- ✓